

府障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

知事、副首都・大阪の確立を表明

9月27日、9月定例大阪府議会が開会しました。開会日に合わせて、大阪労連や民主団体でつくる府民要求連絡会は、ランチタイム集会和府庁パレードにとりくみ、約200人が参加しました。

副首都構想はカジノなど大型開発推進のため

大手前ロータリー南側ひろばで行われたランチタイム集會では、石川たえ府議會議員(日本共産党)が、副首都構想はカジノなど大型開発推進のためであることがはっきりしてきた。子どもの貧困対策も(保護者の)就労保障として保育所を整備するのではなく、



ランチタイム集會の参加者

続いて、各団体の代表5人がリレー発言を行いました。大阪教職員組合の大瀬良書記次長は、府独自の中学チャレンジテストについて、子どもたちを過度な競争に追い込むもの」と告発しました。民青同盟府委員会の大勝常任委員は「奨学金を借りて大学進学を考

えていたが、返済できないから諦めるよう親に言われた」という青年の訴えを紹介し、「青年の願いを調査し、願いに応える政治を」と求めました。府職労の小松書記長は、府立5病院が独立行政法人化され、もうけ優先の病院に変えられたと告発しました。府保

険医協会の田川事務局次長は、「国が低所得者を医療から遠ざける政策をとっている今、府が悪政の防波堤になるべきだ」と強調しました。新日本婦人の会大正支部の上原さんは、2人の子どもの母親の立場から、子どもが3歳の時3カ月間通院した経験を紹介し、「医療費助成制度がと声をあげました。」

府民の福祉より「副首都」構想

松井知事は、9月府議会に368億円の補正予算案を提出しました。その中には、鉄道可動式ホーム柵整備費や、児童福祉施設や障害者施設等の整備補助金など、府民の要求にこたえるものもある一方、高速度道路大和川線建設なども盛り込まれています。

また、大阪府立大学と大阪市立大学の統合や、府立産業技術研究所と大阪市立工業研究所の統合、府立公衆衛生研究所と市立環境科学研究所の統合、独立行政法人化など、府市統合を前提にした議案も提出されます。さらに、国民健康保険の広域化、府立西淀川高校廃止、大正高校と泉尾高校、西淀川高校と北淀高校の統合、患者の自己負担を増やす福祉医療費制度の改悪など、府民から強い反対の声があがっている問題が議論されます。

規制緩和と弾力化で詰め込めば良いというのが、松井知事が国に求めている中身だ」と指摘しました。石川議員は新たな高校統廃合にも触れ、府民の暮らしがこれだけ大変な時に、やるべきことは大型開発や府立高校をつぶして跡地を売ることではない」と訴えました。

この他府議会では、北朝鮮による核実験や弾道ミサイル発射などに抗議する決議が全会一致で採択されました。9月定例府議会の会期は、12月20日まで85日間です。

府障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/>

Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



7月26日未明、神奈川県相模原市にある障害者施設津久井やまゆり園で殺傷事件が発生し、入所者19人が亡くなり27人が重軽傷を負いました。自分たちを守ってくれるはずの元職員が容疑者であったことが障害当事者の衝撃を増幅させています。今、多くの関係者が特に懸念しているのは、この事件を契機に優生思想的な発言が、露骨で陰湿な形で飛び出していることです。容疑者がヒトラーの名を口にしていること、価値なき生命の抹殺と称して、ドイツ国内だけで20万人以上の障害者が虐殺された「T4作戦」が連想されます。

事件から2カ月がたった9月28日、事件とその背景にある問題を深め合おうと、国会内で討論集會が開かれ、障害者やその家族など300人が参加しました。延命治療を施さない選択ができる、尊厳死法案や、出生前診断にふれて「障害がない方がいい」と思うのは容疑者だけだろうか」と問いかける人をはじめ、共生社会に向けて次の一歩を踏み出さなければ」と決意を述べる人、精神障害のある人が入院歴によって偏見を持たれることなく市民として扱われる社会を求める人など、様々な立場から12人が発言しました。

歴史的にみても、障害者が増えることは社会の負担になるという主張は非常に根深いものがあります。しかし、障害者を排除する社会は、やがてその他の少数者にも攻撃のターゲットを広げていきます。かつて国連は、一部の構成員をしめ出す社会は弱く脆い」と明言し、障害者権利条約には、その心身がそのままの状態尊重される権利を有する」と明記されています。

各ブロックのとりくみ
紹介 その2

本人にとりて「心地よい負荷」となる活動を「じゅくじゅー」
実践は「仕掛けて待つ」

北河内5分会合同宿泊教研

7月29日～30日、北河内の5分会、寝屋川支援、交野支援、四條畷校、守口支援、枚方支援、合同で宿泊教研を行いました。4回目となった今年は、「子どもたちの将来を考える時、今大切にしたいこと」をテーマに、1日目は講師にお招きした小畑耕作さん(大和大学)にお話ししていただき、2日目は各校の「キャリア教育」や「職業コース」の報告を行い、お互いに学び合いました。38人の参加があり、学習会だけでなくバーベキューや夜の「コテージ」でも話は尽きず、楽しく充実した2日間となりました。



1日目の学習会の様子

1日目は、小畑さんより卒業後、主体的に生きるために「今、あらためて青年期教育を考える」と題したお話がありました。「自身の歩みを振り返られて支援学校の教員になるまでの経験や、教員時代の高等部や小学部での実践、現在携わっておられる卒業後の学びの作業所での実践と青年たちの様子について、生き生きと語られました。

小畑さんは、実践を創るとき視点として「自分づくりの視点、自己解放の視点、集団の大切さの視点、問を大切にすることをあげられました。青年期は、主体性を発揮できる人間として成長をとげる大切な時期です。いわゆる、第2の誕生の時期として、不安やいらだちなど精神の動揺の著しさも見られますが、ゆれる心が自分をつくります。学校時代には、本人の内面に働きかけ、じっくり、ゆっくり、たっぶり、その人のペースでできる活動が大切になります。特に高等部では、すぐ目の前の就労に向けて、働く態度の育成が中心となり、ともすれば受け身の態度の形成に陥りがちになってしまいます。「つけない力」には青年自身の願、親の期待、教師の思い、社会の要請などがありますが、それは青年の内面をくぐって「こうなりたい」という本人の要求になっていなければなりません。



小畑さんを囲んでの楽しいひととき

また、今学校現場でさかん

に言われている「キャリア教育」についても、職業上の経歴(ワークキャリア)に限定して理解するのではなく、生き方の履歴(ライフキャリア)としての視点を持つ必要があると説明され、社会に出てからもしなやかに生きていくために、「自分づくり」の準備期間を十分に保障することの大切さを話されました。そして、そのために私たちは授業実践に磨きをかけていきましょう、と呼びかけられました。

2日目の学習会では、5分会だけでなく高等支援学校からも参加があり、それぞれから「キャリア教育」や「職業教育」「職業コース」がどのように実践されているか報告し合いました。その背景やあり方について、また、現場で感じている事などについて参加者全員が発言し、お互いに学び合う事ができました。



2日目の学習会の様子

参加者の感想です！

高校生だから「これはできて当たり前」だったり、「今は しないと！」と、生徒に押しつけていた部分があったかなと感じました。主体的に生徒が行わなければ、その子の身にはつかないのだと思います。生徒自身がやりたい！と思えるよう、いかにもっていくのか...。しっかり考えるためにも子どもたちをしっかりと見て、接していこうと思いました。

みんな勉強するのが楽しそうで、とても積極的に学んでいます。「この子たちが卒業、進学するのはムリなのか、進学できるようなところがないのかな...?」と思っていたところに、小畑先生の実践を聞いて、とてもいいな！と思いました。今後、このような場所がもっと増えて、支援の子たちが高卒業、勉強できる場所(就職のための勉強ではなく、人生を豊かにする勉強)ができていくことを願っています。学校はやっぱり文化と教養を勉強する場所ではなくてはなりません。

自分自身が時間に追われ、子どもたちを動かしていることがあります。ゆったりとした「間」待つことの大切さ、子どもたちが主体的に動けるように自分も常に心にゆとりを持ちたいです。

「こうさせなければ」とか「こうあるべき」と思って自分にまでプレッシャーをかけてしんどくなっていましたが、とても頭がやわらかくなった気がします。

知的障害の青年だけでなく、肢体不自由や健常者にも共通するお話でした。子どもたちはどんな大人になりたいと考えているのか？私たちがどのような力を身につけてあげればいいのか？をこれからも考えようと思いました。

キャリア教育の中にもいろいろな考え方があることを知った。学校での日々の取り組みを見つめ直して、生徒のやりがい、生きがいを見つけられるようにとりくみたい。

小畑先生が本当に楽しそうに話されるのが印象的でした。私自身も授業や普段の話を子どもとする際に、笑顔で心から楽しいと思って話したいと思いました。

の学びの要求を見つめ直す機会となりました。それぞれの現場で実践を深めていきたいと思えます。